

## アートとテクノロジーの融合による メディアアート制作と展覧会の実施

電子光工学科 教授 青木 広宙

本事業では、札幌市の中心地にある複合文化施設・札幌文化芸術交流センター「SCARTS」にて、アートとテクノロジーの融合を図る展覧会「艾沢詳子+青木広宙PLATFORM」を実施しました。

美術家 艾沢詳子氏が制作した紙とワックスを素材とするヒト型のオブジェの集合体を展示の軸としながら、青木研究室で取り組んできたインタラクティブな光技術の効果を組み合わせることで、展示空間と観覧者のイメージーションが交差する「Platform/ 舞台」を創出することができました。

会期中は、800名上の多くの方々が鑑賞に訪れられ、アートとテクノロジーの融合、アナログとデジタルの融合といった本展覧会が目指す方向性について認知して頂き、今回のわれわれの試みに対して一定の評価が得られたものと考えます。

### アート×テクノロジーで地域の文化振興・科学技術振興を！

アートとテクノロジーの融合をテーマとするこの展覧会は、“ひと・もの・こと”をつなぐためのプラットフォームであるSCARTSにおいて実施され、人々の歩んできた歴史の中で連綿と受け継がれてきた人間の遺伝子、さらにはそこに宿る不屈の精神や生命の継承、といった人間に関する普遍的なテーマがその根底にあります。昨今のコロナ禍において、改めてアートやテクノロジーの重要性が見なおされつつある現状を鑑み、人々の創造性を触発するプラットフォームとなることが企図されました。

会期中は、大雪による交通麻痺や新型コロナ感染症の拡大などがありましたが、855名に上る方々に足をお運びいただき、アートとテクノロジーの融合、アナログとデジタルの融合といった本展覧会が目指す方向性について、多くの方々に認知していただきました。また、SCARTS担当者の方々のご協力の元、いちから展覧会を作り上げるプロセスを経験できたことは、貴重な財産となりました。

千歳市内においても同様の展覧会を開催する予定で準備を進めてきましたが、コロナ禍の影響で開催を断念せざるを得ませんでした。千歳市内においては、テクノロジーを融合したアート制作として、千歳第二小学校で百周年記念ワークショップの開催や百周年記念式典のオープニング演出を行い、また、冬季のグリーンベルトでイルミネーションの企画・設営を行いました。

今後、今年度の成果を元に、千歳市内における文化振興・科学技術振興を目指した活動に取り組んでいきたいと考えています。



艾沢詳子+青木広宙PLATFORM エントランス



艾沢詳子+青木広宙PLATFORM 会場内



グリーンベルトイルミネーション

